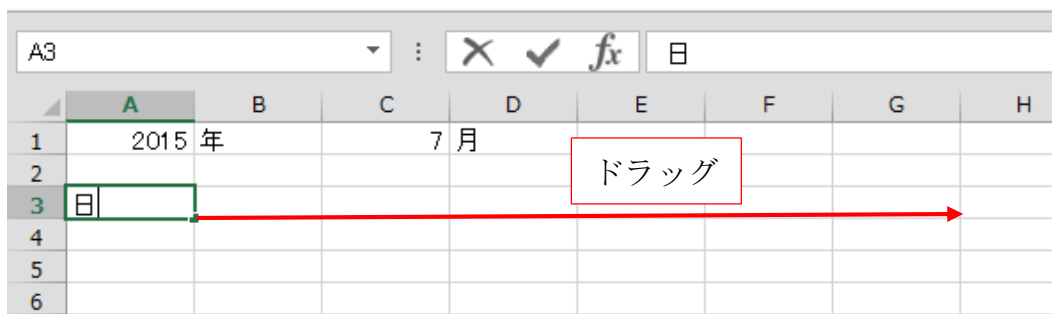


ボックス型の万年カレンダーを作ろう

2015 年 7 月を例にカレンダーの骨格を作る

1. 表示対象の年と月・見出しの曜日を入力



セル A1 に 2015 B1 に年 C1 に 7 D1 に月、と入力

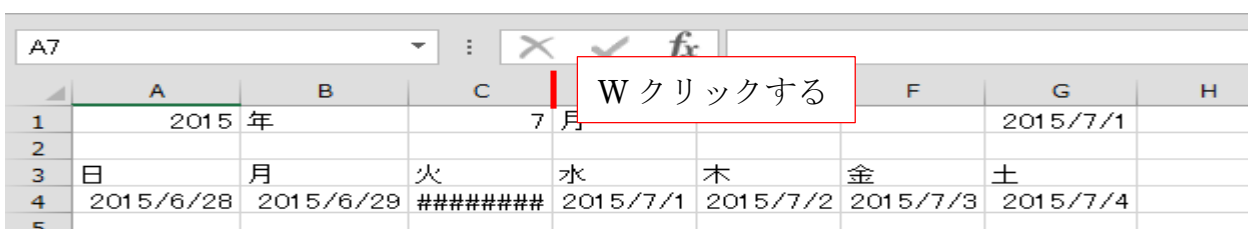
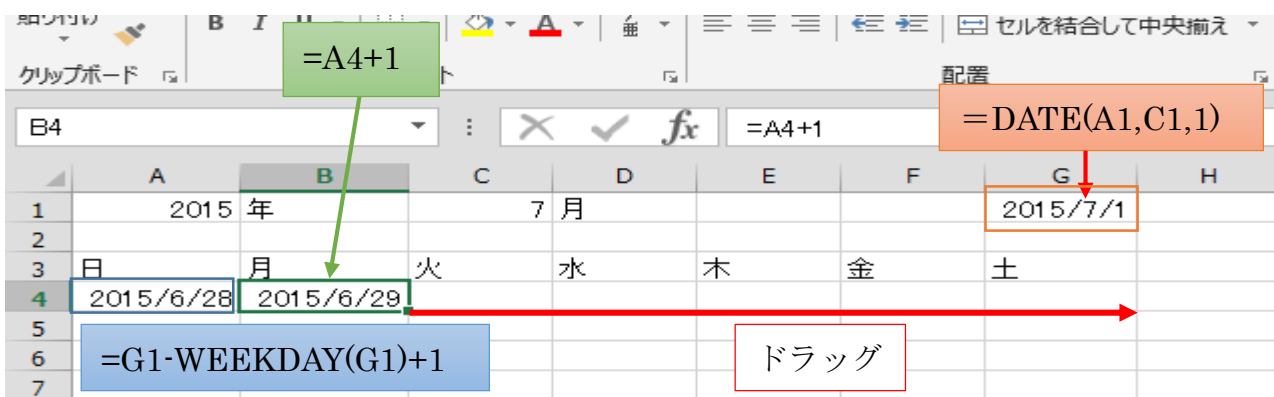
セル A3 に日と入力して同セルを選択し、その右下隅を G3 セルまでドラッグ

2. DATE (デイト) 関数を使い G1 セルで当該年月の初日を求める

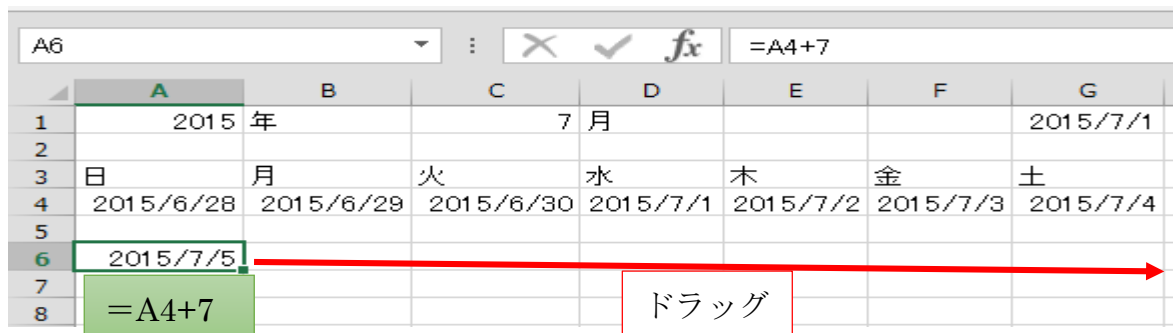
G1 セルに=DATE(A1,C1,1)と入力

A4 セルに =G1-WEEKDAY(G1)+1 と入力

B4 セルに =A4+1 と入力 G4 迄ドラッグする



A4 セルの 7 日後の日付を得る数式を A6 セルに入力 (=A4+7) G6 までドラッグ



A6~G7 まで選択して G13 迄ドラッグする。

これで 2015 年 7 月を軸とした 5 週間分の日付を表示できる

A6							
A	B	C	D	E	F	G	
1	2015	年	7	月			2015/7/1
2							
3	日	月	火	水	木	金	土
4	2015/6/28	2015/6/29	2015/6/30	2015/7/1	2015/7/2	2015/7/3	2015/7/4
5							
6	2015/7/5	2015/7/6	2015/7/7	2015/7/8	2015/7/9	2015/7/10	2015/7/11
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							

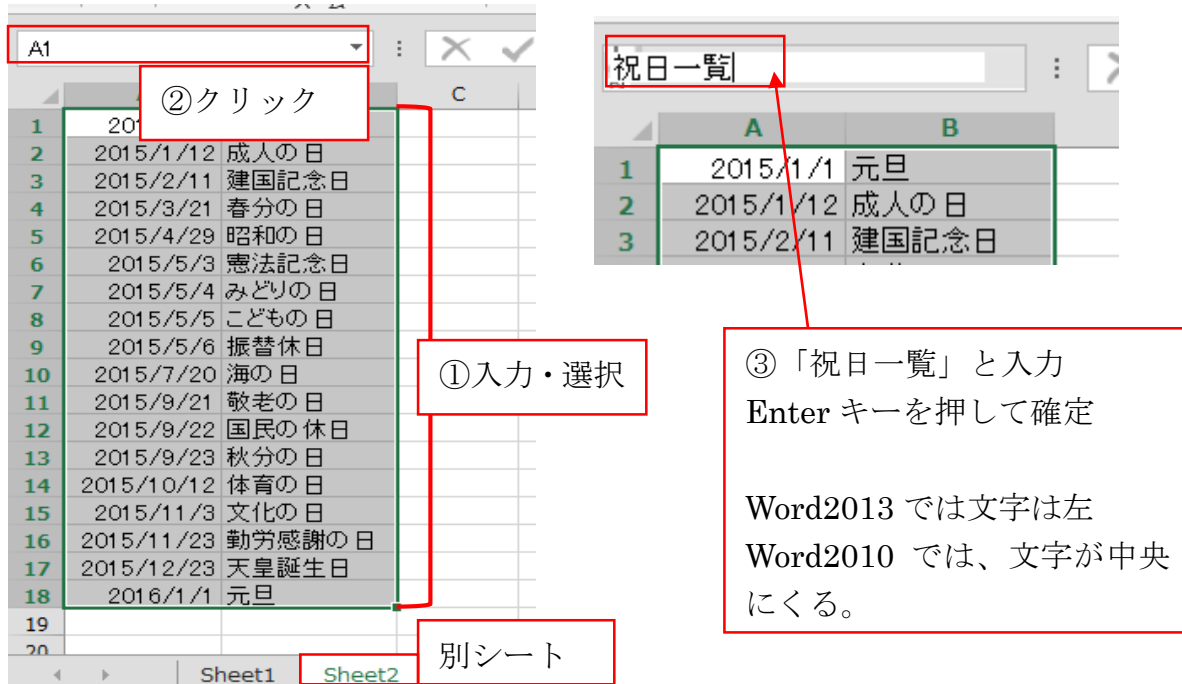
ドラッグ

A6							
A	B	C	D	E	F	G	
1	2015	年	7	月			2015/7/1
2							
3	日	月	火	水	木	金	土
4	2015/6/28	2015/6/29	2015/6/30	2015/7/1	2015/7/2	2015/7/3	2015/7/4
5							
6	2015/7/5	2015/7/6	2015/7/7	2015/7/8	2015/7/9	2015/7/10	2015/7/11
7							
8	2015/7/12	2015/7/13	2015/7/14	2015/7/15	2015/7/16	2015/7/17	2015/7/18
9							
10	2015/7/19	2015/7/20	2015/7/21	2015/7/22	2015/7/23	2015/7/24	2015/7/25
11							
12	2015/7/26	2015/7/27	2015/7/28	2015/7/29	2015/7/30	2015/7/31	2015/8/1
13							
14							

※シリアル値は 1900 年 1 月 1 日を 1 とした連番

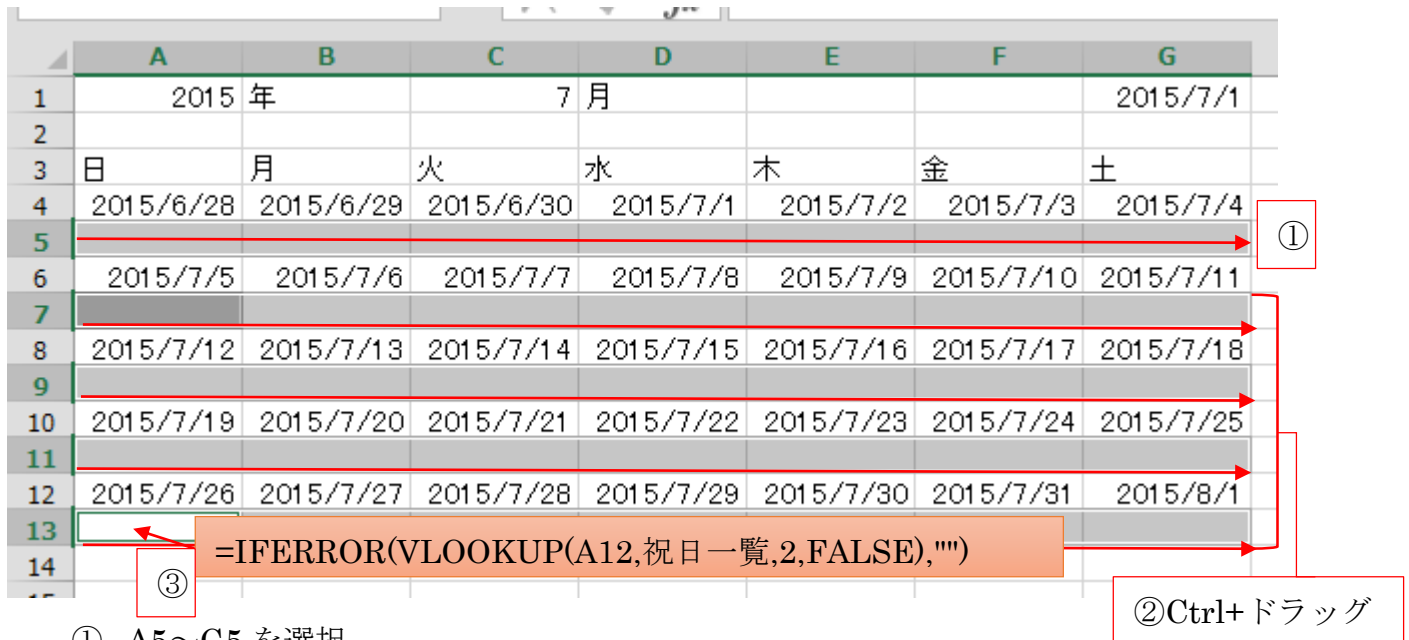
どこかの列が ##### 表示になった場合は、列見出しの右端をダブルクリックして列幅を広げる。

別シートに祝日一覧を入力して名前を付ける



- ① 別シートに 2015 年の祝日とその名前を入力
- ② セルを選択して、名前ボックスをクリック
- ③ 「祝日一覧」と上書きし、「Enter」キーを押す
Enter キーを押すと文字が中央にくる

日付の下に祝日名を表示する



- ① A5～G5 を選択
- ② 「Ctrl」キーを押しながら、A7～G7、A9～G9、A11～G 11 のセル範囲を選択する。
- ③ その状態で =IFERROR(VLOOKUP(A12,祝日一覧,2,FALSE), "") と入力。
- ④ Ctrl キーを押しながら Enter キーを押す

A13 : ✕ ✓ fx =IFERROR(VLOOKUP(A12,祝日一覧,2,FALSE),"")

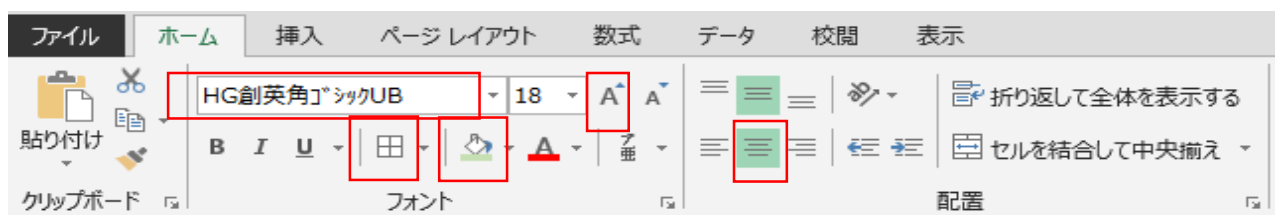
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	2015 年			7 月				2015/7/1
2								
3	日	月	火	水	木	金	土	
4	2015/6/28	2015/6/29	2015/6/30	2015/7/1	2015/7/2	2015/7/3	2015/7/4	
5								
6	2015/7/5	2015/7/6	2015/7/7	2015/7/8	2015/7/9	2015/7/10	2015/7/11	
7								
8	2015/7/12	2015/7/13	2015/7/14	2015/7/15	2015/7/16	2015/7/17	2015/7/18	
9								
10	2015/7/19	2015/7/20	2015/7/21	2015/7/22	2015/7/23	2015/7/24	2015/7/25	
11		海の日						
12	2015/7/26	2015/7/27	2015/7/28	2015/7/29	2015/7/30	2015/7/31	2015/8/1	
13								
14								
15								

祝日が表示される

カレンダー全体の書式を整える

A3～G3 を選択 ホームタブの各種ボタンで装飾する

フォント HGP 創英角ゴシック UB ・ ファントとサイズの拡大ボタンをクリック
 中央揃え ・ 塗りつぶしの色・罫線 格子



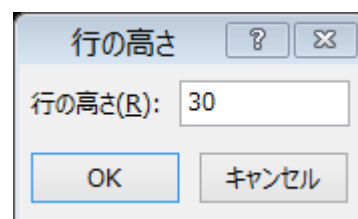
	A	B	C	D	E	F	G
1	2015 年			7 月			2015/7/1
2							
3	日	月	火	水	木	金	土
4	2015/6/28	2015/6/29	2015/6/30	2015/7/1	2015/7/2	2015/7/3	2015/7/4
5							

4～13 行の行見出しをドラッグして選択

A3

	A	B	C	D
1	2015 年			7 月
2				
3	日	月	火	水
4	2015/6/28	2015/6/29	2015/6/30	2015/7/1
5				
6	2015/7/5	2015/7/6	2015/7/7	2015/7/8
7				
8	2015/7/12	2015/7/13	2015/7/14	2015/7/15
9				
10	2015/7/19	2015/7/20	2015/7/21	2015/7/22
11		海の日		
12	2015/7/26	2015/7/27	2015/7/28	2015/7/29
13				
14				

ホームタブ → セルグループの
 書式 → 行の高さ 30

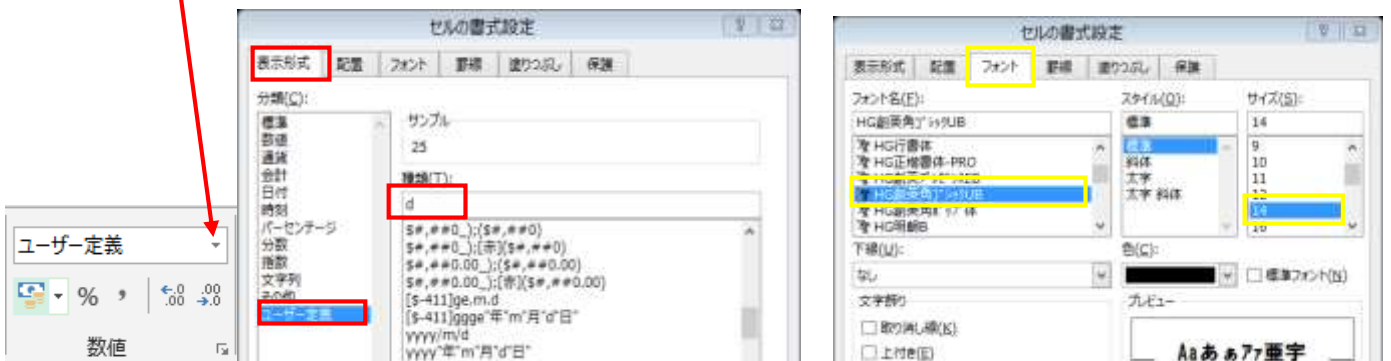


日付の書式を整える(後で書式コピーする作戦)

B10 セルを選択

9			
10	2015/ 9	2015/7/20	2015/7/21
11		海の日	
12	2015/7/26	2015/7/27	2015/7/28

数値グループ → 表示形式 → ユーザー定義 (Word2010 はその他の表示形式) 種類 d
 フォントタブ → フォント名 HG 創英角ゴシック UB サイズ 14

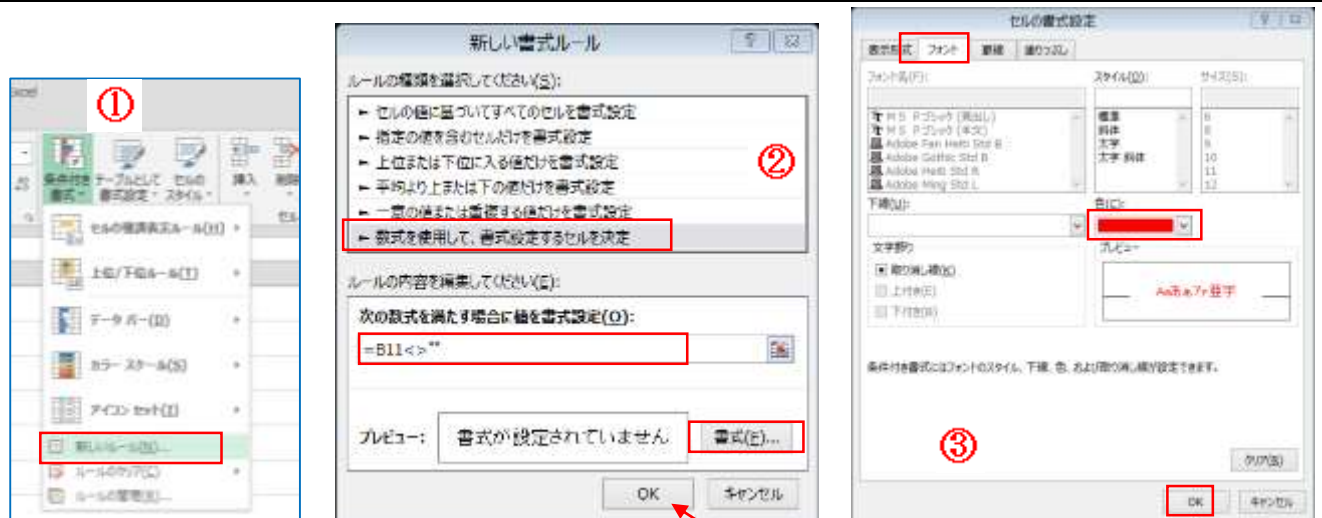


祝日名の書式を整えて外枠罫線を引く

B11 セルを選択して、フォントサイズの縮小ボタンを 1 回クリック
 フォントの色 赤 ・ 中央揃え
 B10~B11 を選択
 フォントグループ → 罫線 → 外枠選択

9			
10	2015/ 9	20	2015/7/21
11		海の日	
12	2015/7/26	2015/7/27	2015/7/28
13			

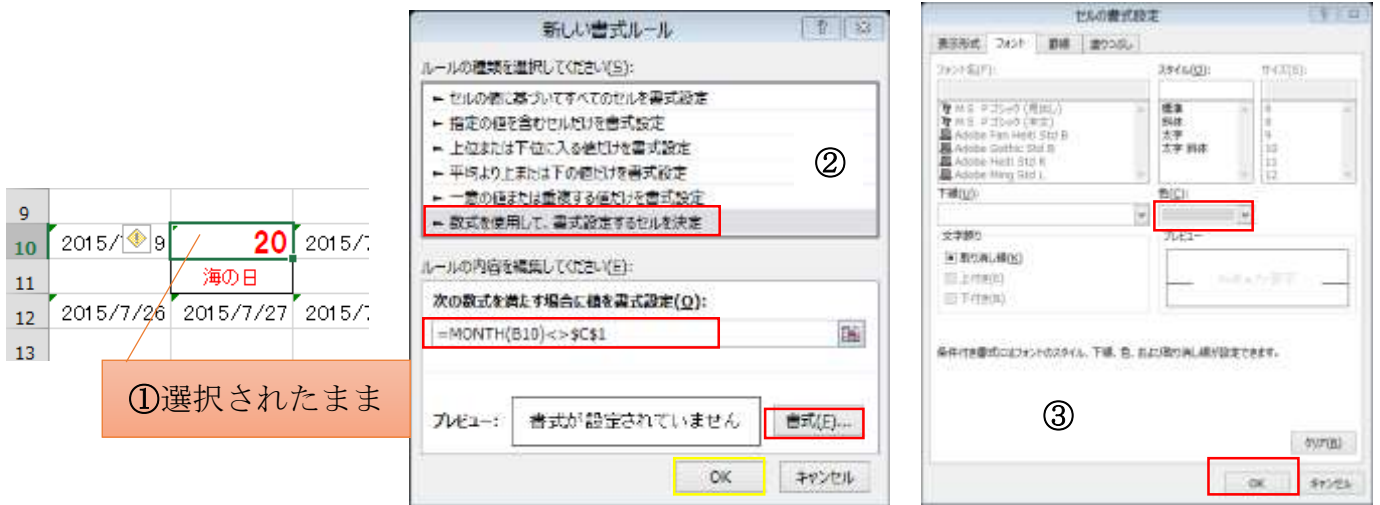
祝日の日付を自動的に赤くする



- ① B10 セルを選択 → ホームタブ → 条件付き書式 → 新しいルール
- ② 数式を使用して、書式を設定するセルを決定 → 下段に図の数式を入力 → 書式
- ③ フォントタブ 色→赤
- ④ ③の画面を「OK」ボタンで閉じる。②の画面に戻るので、「OK」ボタンで閉じる。

ほかの月の日付を自動的にグレー表示する

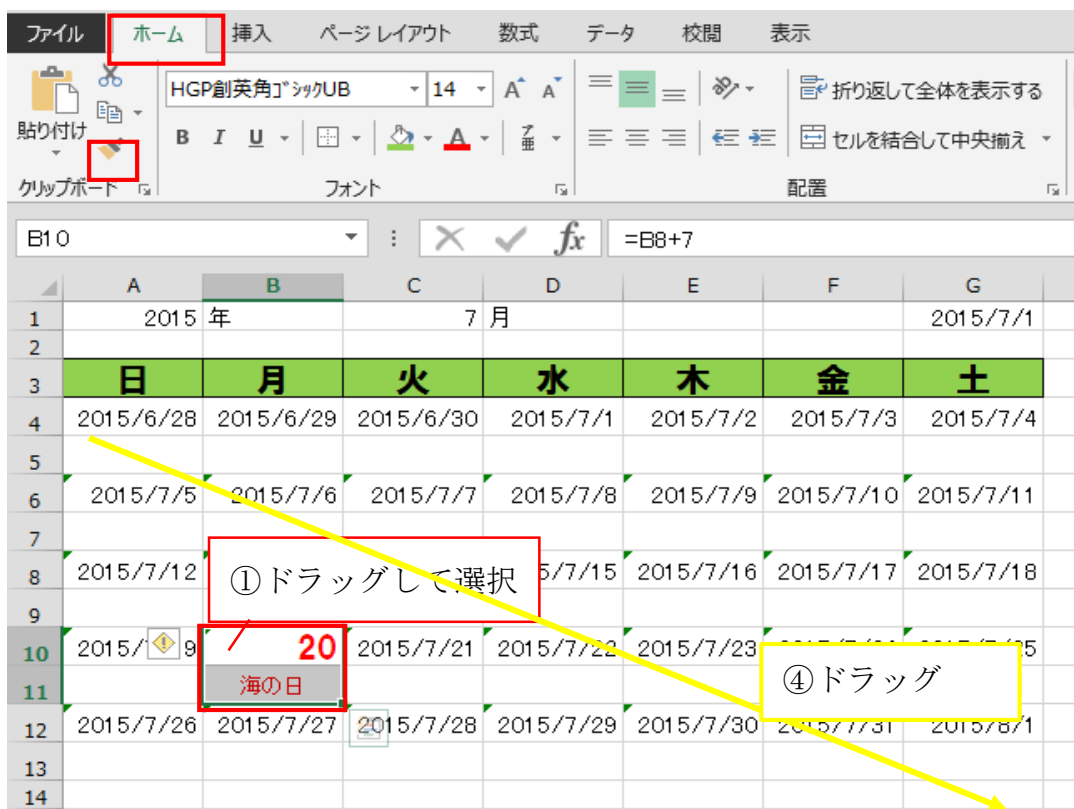
祝日は赤、他の月はグレー条件付き書式の順番に注意
 他の月の日付を自動的にグレー表示する



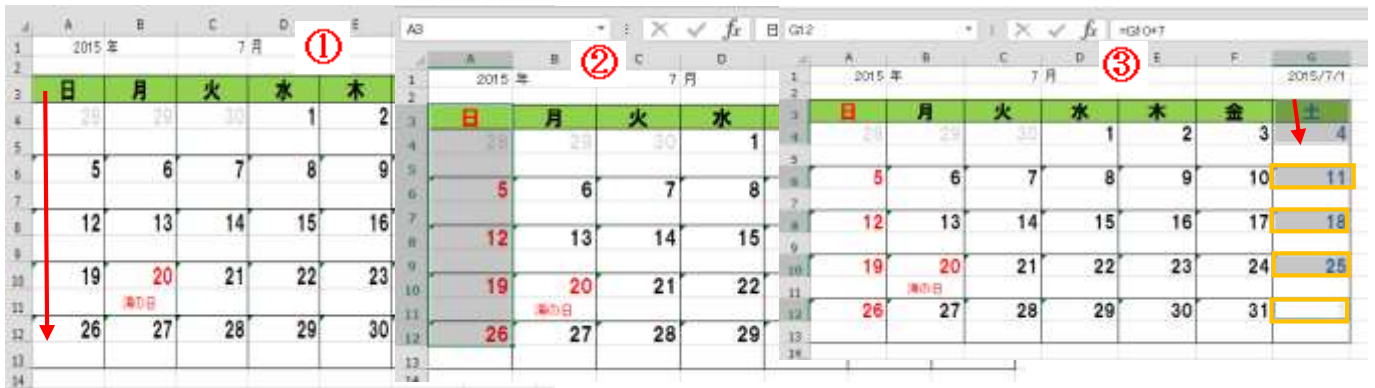
- ① B10 セルが選択された状態のまま
- ② 再度「条件付き書式」から「新しいルール」を選ぶ
 日付が表示対象の月（C1）以外なら文字をグレーにするという条件付き書式を設定する。
 数式 =MONTH(B10)<>=\$C\$1
- ③ 書式 フォントの色 グレー
- ④ ③の画面を「OK」ボタンで閉じる。②の画面に戻るので、「OK」ボタンで閉じる。

書式をコピーしてカレンダーを仕上げる

- ① B10～B11 を選択
- ② 「ホーム」タブ → ③書式のコピー／貼り付け



- ④ マウスポインターが刷毛付きの絵柄  になったら、A4～G13 をドラッグ



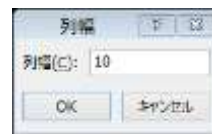
①・② 日曜日 赤に設定 A3~A12 を選択 フォントの色 赤

③ 土曜日 青に設定 G3~G4 を選択

Ctrl キーを押して G6・G8・G10・G12 を選択

フォントの色 青

A~G 列の見出しをドラッグして A~G 列全体を選択
セルグループ → 書式 → 列の幅 10



他の付きで動作検証しよう (不具合を IF[関数で回避])

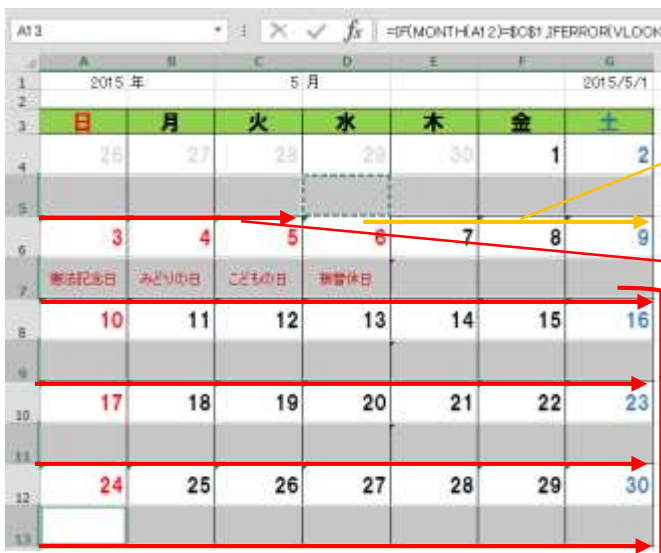
C1 セルを「5」に変えて 5 月のカレンダーを表示してみる
4 月の末の祝日名まで赤で表示された



A5 セルの数式を書き換える

=IF(MONTH(D4)=\$C\$1,IFERROR(VLOOKUP(D4,祝日一覧,2,FALSE),""),"

D5 セルを選択して「ホーム」タブの「コピー」をクリック



1.ドラッグ

2.Ctrl+ドラッグ

3.Ctrl+ドラッグ

選択が済んだら、「貼り付け」ボタンをクリック

C1 セルの値を変えて他の月も確認してみましょう。